

東日本大震災復興支援
第12回全国障害者スポーツ大会 バasketボール競技

MATCH No. A-8

開催場所: ヒマラヤアリーナ
試合区分: 男子決勝
開催期日: 2012年10月14日 (日)
開始時間: 16:40

主審: 相宮 俊郎
副審: 小牧 秀則



Team A	●	7 -1st- 16 17 -2nd- 13 8 -3rd- 16 16 -4th- 14	○	Team B
秋田県	48		59	横浜市

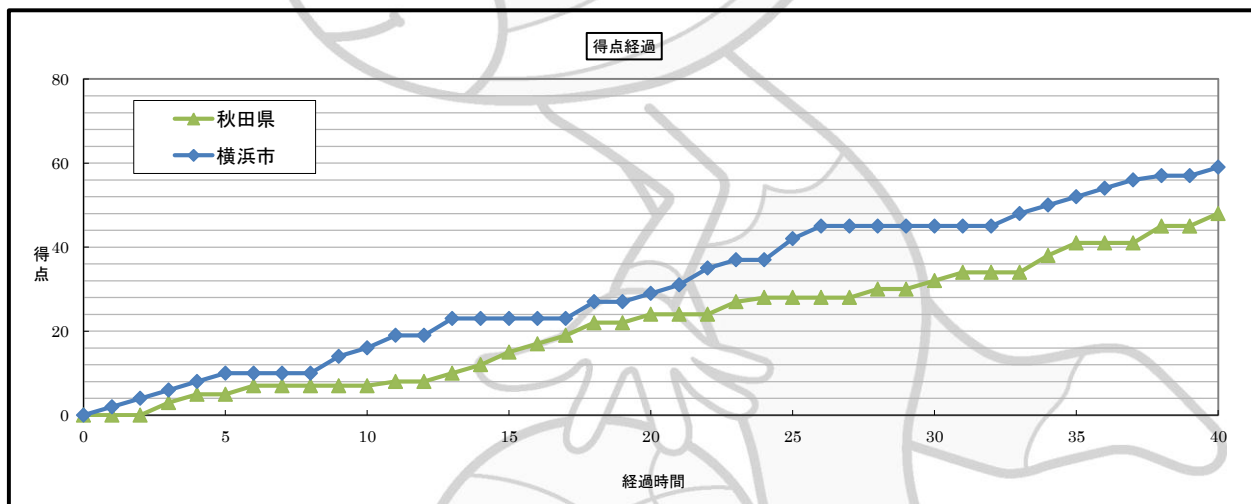
TEAM A		秋田県					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	齊藤 芳樹(C)	19	3	5	0	3
5	*	谷 隼人	17	0	8	1	2
7	*	長岐 大嗣	4	0	1	2	2
8	*	大野 圭太	3	1	0	0	2
9	*	伊藤 和雅	5	0	2	1	2
11		松井 優貴	0	0	0	0	0
13		佐藤 裕紀	-	-	-	-	-
15		佐々木 淳	-	-	-	-	-
Coach		北林 拓也	/	/	/	/	0
TOTAL			48	4	16	4	11

TEAM B		横浜市					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	津恵 祥平(C)	12	0	5	2	3
5	*	守屋 拓真	0	0	0	0	0
6	*	中野 貴文	8	0	4	0	3
7	*	高木 昂	15	1	4	4	4
8		長谷部 晃司	9	3	0	0	0
9		佐藤 浩	-	-	-	-	-
10		水野 耕介	7	0	3	1	1
11		代 淳太郎	-	-	-	-	-
12		高橋 稔	-	-	-	-	-
14	*	高山 晃	8	0	4	0	3
15		魏 恩隆	-	-	-	-	-
16		鈴木 健志	-	-	-	-	-
Coach		吉原 義人	/	/	/	/	0
TOTAL			59	4	20	7	14

Timeout (経過時間)	1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
	11:49 -	26:02 34:06 37:47	-	-

Timeout (経過時間)	1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
	- -	23:21 - -	- -	- -

*:スターター (C):キャプテン PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル



男子決勝戦。秋田は2-3のハーフコートゾーン、横浜は1-2-2のマッチアップゾーンでゲームスタート。1Q立ち上がり、横浜は#6のリバウンドシュート、#4のミドルシュートとバランスのいい攻撃で得点を重ねる。秋田は#4を起点に#5がゴール下で踏ん張るが苦しい展開。しかし、残り3分、横浜#5が負傷退場すると、徐々に秋田に流れが傾く。1Qは7-16で横浜がリード。

2Q、横浜はディフェンスを2-1-2のゾーンに変える。しかし展開は秋田ペース。秋田は#5のリバウンドシュート、#4の3Pで必死の追い上げを図る。横浜は#7のミドルシュート、#14のゴール下のシュートで何とか踏ん張る。終盤に横浜は#5をコートに戻して、ディフェンスの立て直しを図りリードを保つ。24-29と横浜リードで前半終了。

3Q、横浜は#4のアシストから#6のゴール下、リズムのいいパス回しから#10のミドルシュートでリードを広げる。しかし、残り6分、横浜#7が4つ目のファウルをしてベンチに下がると、秋田はそこから足の止まった相手ディフェンスのファウルを誘い、#7がフリースローで得点するなど、その差を詰めるかと思われた。しかし、ここで横浜は控えのメンバーが奮起。#8の2本の3Pなどで逆にその差を広げる。秋田は#4がジャンプシュートを2本連続で沈めるもあとが続かない。32-45と横浜リードで終了。

4Q、秋田が#5の力強いインサイドプレーで得点すれば、横浜#8の3Pと一進一退の攻防が続く。中盤、秋田は#8の3Pが決まり追い上げを図るが、横浜は#10のミドルシュート、#4のレイアップなどで着実に得点を重ね、ディフェンスリバウンドもしっかり取り流れを渡さない。最後は#7がジャンプシュートを決め勝負あり。結局、ベンチを含め高さ、スピードなど総合力で上回った横浜が優勝を決めた。チームワークよく、そして最後まであきらめずに戦った秋田にも拍手を贈りたい。

記載責任者 津田 健介 (所属) 岐阜県バスケットボール協会